

高幡租税債権管理機構および佐川町、土佐市、高知県中央西県税事務所からのお知らせ

税金滞納で差し押さえた不動産7物件を公売します!

公売とは 「公売」とは、滞納税に充てるために差し押さえた財産を売却することです。具体的には、公売会場において見積価額以上の金額を入札していただき、最高価額の入札者に売却していくもので、裁判所の行っている競売に類したものです。

■高幡租税債権管理機構および佐川町、土佐市、高知県中央西県税事務所の方針

行政サービスを支える財源の確保に向けて、差し押さえた財産は、随時、公売を行って税収に充てています。滞納の解消、税収確保のために多くの皆さんの参加をお待ちしています。

不動産合同公売会 日時 令和3年2月9日(火) 開場 13:30 入札 14:00~
会場 須崎市総合保健福祉センター2F会議室

今回は、高幡租税債権管理機構と管内市町ならびに高知県西県税事務所との合同公売会の形式で、宅地や農用地などを売却します。なお、公売物件の所在地は、土佐市、佐川町、四万十町になります。

番号	出品団体	所在地	地目・種類等	登記地積(m ²)	登記床面積1階(m ²)	登記床面積1階以外(m ²)	見積価額(千円)	保証金(千円)	指定の状況		備考
									都計法	農振法	
1	土佐市	土佐市 出間丁田	田	1,352.00	-	-	1,200	120	-	農用地	耕作者有
2	佐川町	佐川町 永野灘田	宅地	162.56	-	-	494	不要	非線引区域	-	
3	高知県	土佐市 宇佐町宇佐夜明	宅地・居宅	99.17	65.70	52.03	1,363	140	非線引区域	-	占有者有
4	機構	土佐市 宇佐町宇佐橋田	宅地・居宅	158.67	51.51	15.52	250	不要	非線引区域	-	
5		土佐市 中島西大垣	宅地・居宅	915.70	71.02	27.08	1,500	200	非線引区域	-	
6		四万十町 高野字サクラ谷	田	4,312.00	-	-	250	不要	-	農用地	耕作者有
7		四万十町 高野字東坂フリ付	畑	3,440.00	-	-	150	不要	-	農用地	耕作者有

※滞納整理状況等によって、出品物件の公売が中止になる場合がありますのでご了承ください。
※公売や物件の詳細は、高幡租税債権管理機構のホームページの閲覧もしくは下記連絡先におたずねください。
※公売物件の「現地案内」は、個別に対応します。

■入札に必要なもの

- ・公売保証金は、上記公売物件一覧の保証金欄へ金額記載のある物件に限り必要(現金納付に限る)
- ・身分証明書(免許証、パスポートなどの顔写真のある証明書類)
- ・法人の場合は、登記事項証明書および代表権を有する者以外が入札する場合は委任状が必要
- ・印鑑(認印で可)
- ・委任状(代理人が入札に参加する場合のみ)

※「農用地」の入札を行う場合は、物件所在地の農業委員会が発行する「買受適格証明書」が必要です。
・物件所在地以外の市町村に居住の方は、事前に居住地の農業委員会で「農業経営証明書」取得が必要です。

【買受適格証明書の申請期限およびお問合わせ先】

土佐市農業委員会 令和3年1月8日 ☎088-852-7738
四万十町農業委員会 令和3年1月8日 ☎22-3114

■注意事項

- ・保証金納付期限 令和3年2月9日(火) 14:00(見積価格が50万円を超える場合は、10%以上の額と定められています。)
- ・買受代金納付期限 令和3年2月16日(火) 14:00(買受代金は落札額から保証金を控除した金額です。)
- ・所有権移転登記 費用負担と住民票などの提出を条件として、執行機関が代行することができます。

【公売物件に関するお問い合わせ先】

高幡租税債権管理機構	須崎市山手町1-7	☎0889-40-0911
佐川町税務課 収納管理室	高岡郡佐川町甲1650-2	☎0889-22-7703
土佐市役所 税務課	土佐市高岡町甲2017-1	☎088-852-7629
高知県中央西県税事務所 納税課	高知市丸の内1-7-52	☎088-821-4952

～ 行政のサービスは、皆さんの税金で支えられています! ～



からだに
いいはなし

インフルエンザの
予防接種のおはなし

コロナ禍でのインフルエンザの予防接種

新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)が続く中、秋から冬にかけて流行する季節性インフルエンザの時期が訪れます。いまだに新型コロナウイルスのワクチンが完成しない中、インフルエンザのワクチンを接種しておくことには、3つの大きな意味があると考えられます。

毎年、流行する季節性インフルエンザは、特に子どもや高齢者、免疫力の低下している人が気管支炎や肺炎、脳症などの合併症を起こしやすいことで知られています。世界保健機関(WHO)の推計によると、世界では毎年インフルエンザでの死亡数が29万から65万人に達しており、あらゆる年齢層の人たちの死因のトップ10に挙げられています。

今年も新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行や、それに伴う医療現場の逼迫(ひっばく)が心配されるからです。

1. インフルエンザの予防接種は医療機関への負荷を減らす
2. 予防接種はインフルエンザと新型コロナウイルスの重複感染の予防になる
3. インフルエンザのワクチンは新型コロナウイルスの心血管系疾患にも予防効果がある?

海外からの報告では、心血管疾患を基礎疾患にもつ人々にインフルエンザワクチンを接種することで、少なくとも新型コロナウイルスにおける心血管系の重症化に対する予防効果が期待されています。

また、予防接種をされていない方も、今まで同様に感染予防対策として人々がソーシャル・ディスタンスを保ち、手洗いやマスクなどの安全対策を徹底していくことで、インフルエンザの流行を抑える可能性が大きいのではないのでしょうか。



四万十町国保大正診療所

入吉宏紀・中澤彩花・大川剛史

意外と多い!? 冬場の脱水症状!

冬は、空気が乾燥し、暖房器具を使用するとさらに湿度が下がります。乾燥した環境では、特に自覚がないまま皮膚や呼吸から、水分が失われます。また、汗をかきにくい冬は水分を失っている自覚が少なく、夏場に比べ水分の摂取が減りがちとなり水分不足を引き起こす可能性があります。寝る前のコップ一杯の水、特に下痢時や発熱時など、病気のときには「経口保水液」のこまめな摂取をおすすめします。



調剤技術センター 薬剤師 瀧口 英寛

健康管理の特効薬! 薬剤師があなたの相談に答えます!

12月の **無料!** 健康相談は
13日①, 20日①, 27日① です!

【お問い合わせ先】 (株)調剤技術センターくぼかわ ☎22-1000